

SSN流の自然観察

佐口美智子(千葉市)

日 時：2019年2月11日(月・祝) 9時45分～11時30分

参加指導員：29名+協力者：1名

総会前の「SSN流の観察会」は、降雪のため急遽生涯学習センターの特別会議室で行いました。普段小学校などで活動している室内観察会の様子を3つのグループが再現し、参加した指導員は子ども役になり、観察会の体験を行いました。

横戸小学校チームは3年生で実施している「学校林の生態系ピラミッドを作ろう」を発表しました。「学校林で、生きものを捕まえてきてね」という指導員の声に「ハ～イ」という元気な参加者の声。しばらくして、捕まえた虫など(絵)を入れたカップ(カード)をピラミッドが描かれた大きなシートの上に置いていき、その生きものが生態系のどの位置にくるかを参加者全員で考えて、植物と生き物や生き物同士の関わりを考える体験をしました。

次の東葛チームは4年生を対象とした活動の中から鳥をテーマに進められました。世界地図を用いながら渡りの説明があり、続いてスズメクイズも出題されました。スズメの嘴や足が他の鳥の形に描かれているものが提示されると、参加者が「嘴が怖い形をしている～」と反応し、嘴の部分が剥がされ正解が現れました。なぜそういう形をしているのかの説明もありました。また、「スズメのことだけでなく、鳥の観察のポイントが判った」という子どもの感想と一緒に活動している仲間の指導員から報告されました。手作りのスズメの縫いぐるみ(大きさ、重さなど本物と同じ)も回覧され、どのようにして作ったのか、推察し合いました。

最後は四街道チーム。保育所で行っている「葉っぱ合わせレース」や2年生でも実施している自然物を貼った王冠作りを楽しく体験しました。「葉っぱ合わせレース」では2チームに分かれて真剣に対戦しました。王冠作りでは、葉の形や大きさ、色を生かして個性的な作品ができ、かぶって互いににこにこ顔で見せ合いました。「でんでんむし体操」や「どんぐり体操」も披露していただき、参加者全員で体を動かしました。

参加者からは、アドバイスや意見・感想などが活発にだされ、子どもの目線で考えるよい機会となりました。各地の工夫を凝らした実践を知ることができ、早速次の観察会から取入れることができそうです。暖かな室内で参加型の和やかなSSN流の観察会でした。



生態系ピラミッドを作ろう



鳥の渡り・スズメクイズ



葉っぱ合わせレース・王冠作りを体験